

東京 2020 大会に向けた駅改良の工事計画について

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「東京 2020 大会」)期間中にお客さまのご利用が多く見込まれる競技会場周辺の駅や、ベイエリア競技会場・空港アクセス路線への主要乗換え駅において、改札口やコンコースの拡張、バリアフリー設備の拡充等の駅改良を進めており、既に千駄ヶ谷駅・信濃町駅・原宿駅については工事に着手しています。

この度、有楽町駅・新木場駅・新橋駅及び浜松町駅についても具体的な計画がまとまりましたのでお知らせいたします。

○ 駅改良工事の内容

1. 競技会場周辺の駅

(1) 有楽町駅

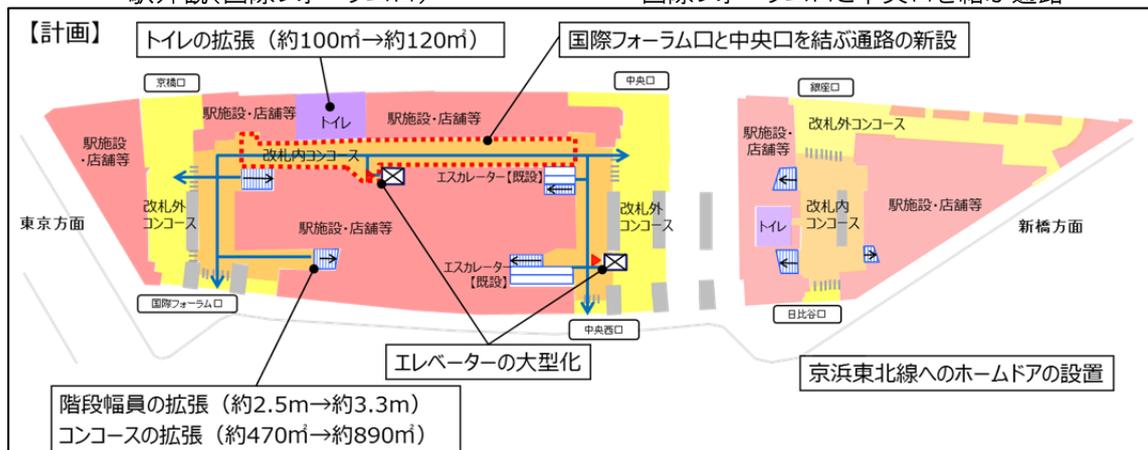
- ① エレベーターを大型化すると共に、国際フォーラム口と中央口のコンコースを結ぶ通路を新設して国際フォーラム口にもバリアフリールートを整備するなど、バリアフリー設備を拡充します。
- ② 階段、コンコースやトイレを拡張し混雑緩和を図ります。
- ③ 京浜東北線にホームドアを新たに設置し、安全性の向上を図ります。(2016年9月 公表済)



駅外観(国際フォーラム口)



国際フォーラム口と中央口を結ぶ通路



※現時点でのイメージであり、実際と異なる場合があります。

(2) 新木場駅

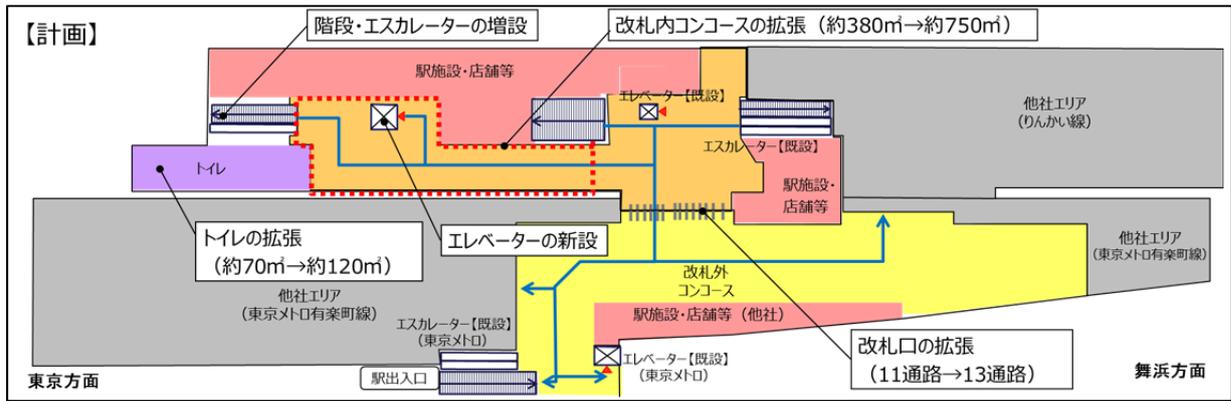
- ① エレベーターを増設し、バリアフリー設備を拡充します。
- ② ホームとコンコースのお客さま動線がスムーズになるよう、階段とエスカレーターを増設します。
- ③ コンコース、改札口やトイレを拡張し混雑緩和を図ります。



改札口



拡張(増床)した改札内コンコース



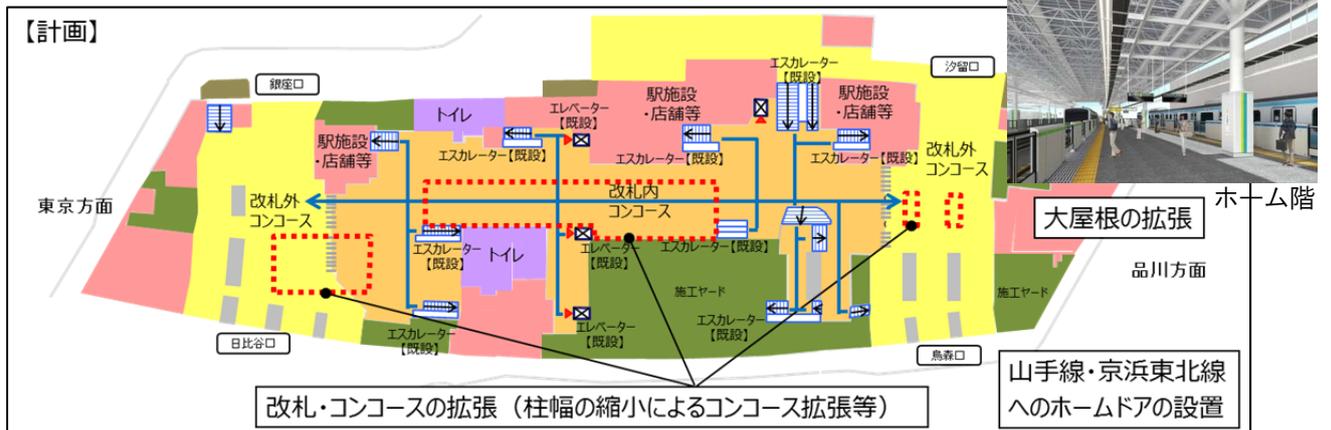
※現時点でのイメージであり、実際と異なる場合があります。

2. ペイエリア競技会場への主要乗換え駅

(1) 新橋駅

- ① 烏森改札口やコンコースを拡張し、混雑緩和を図ります。
- ② ホーム上の大屋根を拡張することで、柱の少ないホームを実現します。
- ③ 山手線と京浜東北線にホームドアを新たに設置し、安全性の向上を図ります。

(2016年12月 公表済)

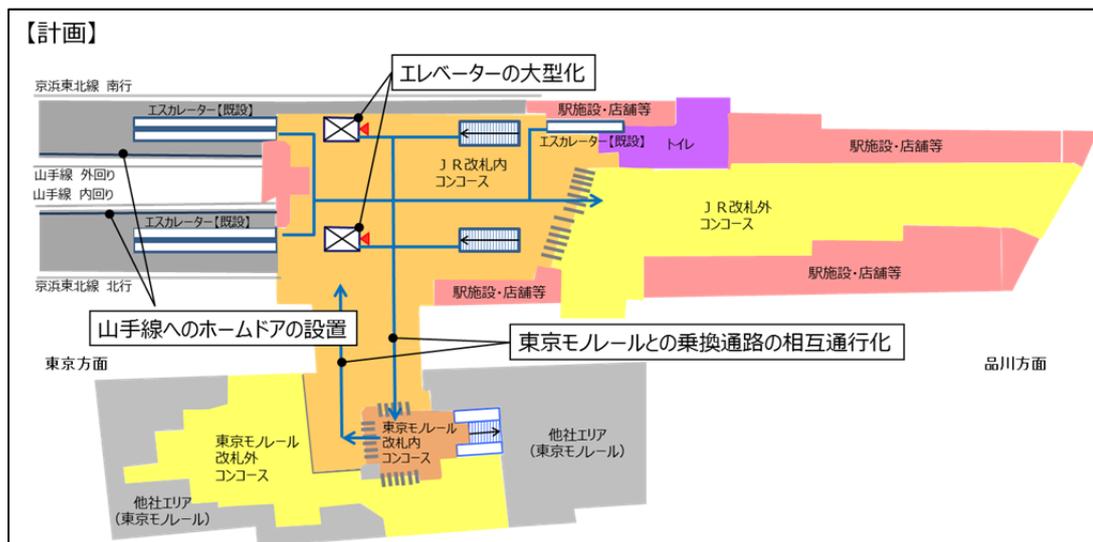


※現時点でのイメージであり、実際と異なる場合があります。

3. 空港アクセス路線への主要乗換え駅

(1) 浜松町駅

- ① エレベーターを大型化し、バリアフリー設備を増強します。
- ② 東京モノレールとの乗換えのお客さま動線がスムーズになるよう、乗換通路を相互通行化します。(2018年3月 供用開始予定)
- ③ 山手線にホームドアを新たに設置し、安全性の向上を図ります。(2016年12月 公表済)



※現時点でのイメージであり、実際と異なる場合があります。

○ 工事費及び工期

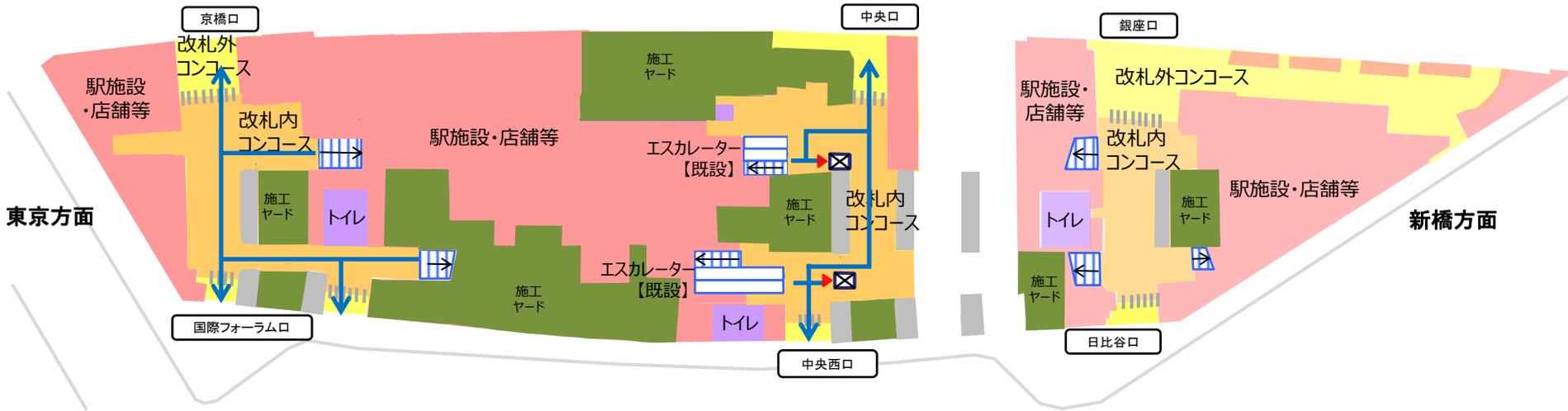
今回、駅改良を計画している4駅の工事費総額は約250億円を見込んでおり、2020年春頃までに使用開始する予定です。

※なお、バリアフリー設備・ホームドアの整備については、国や自治体などのご協力をいただき、進めてまいります。

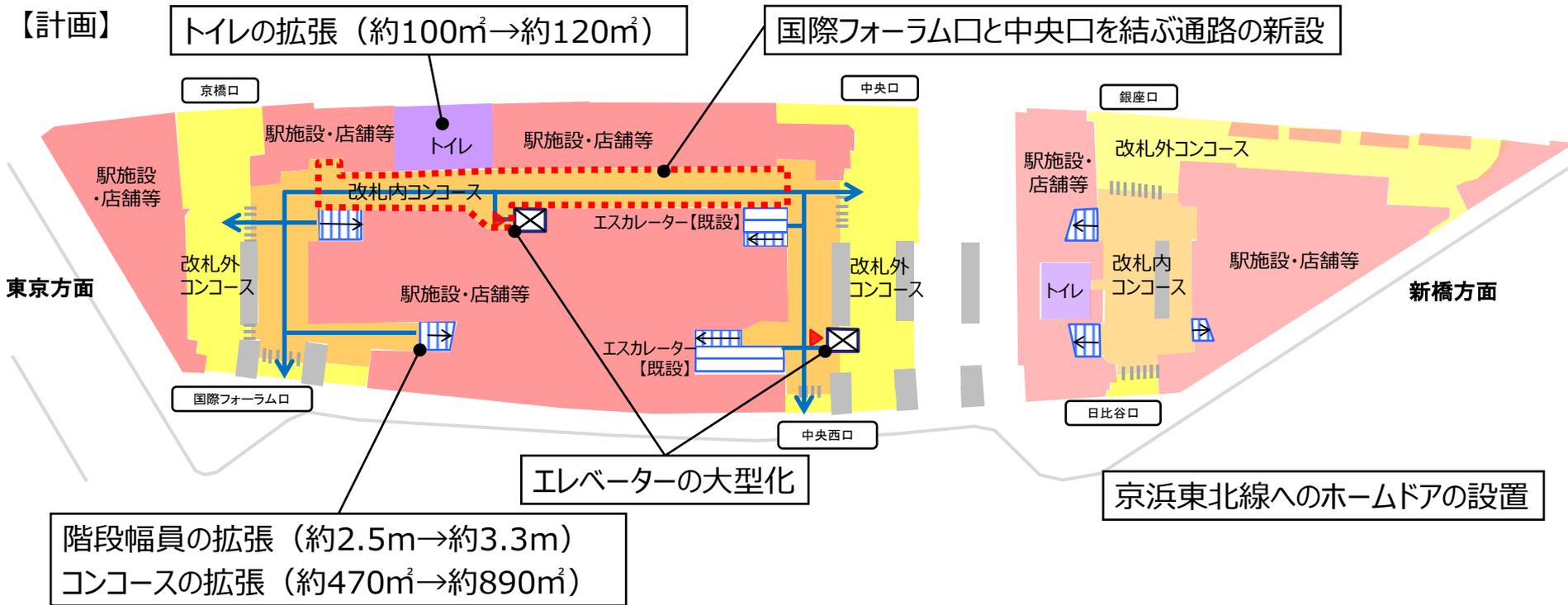


東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)

【現状】

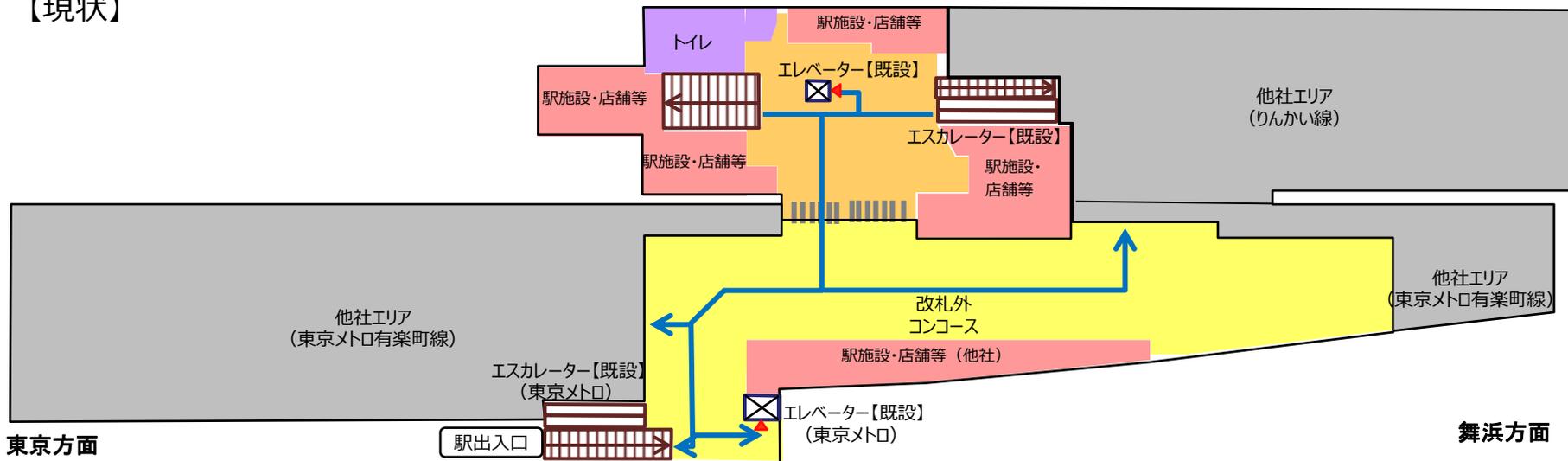


【計画】

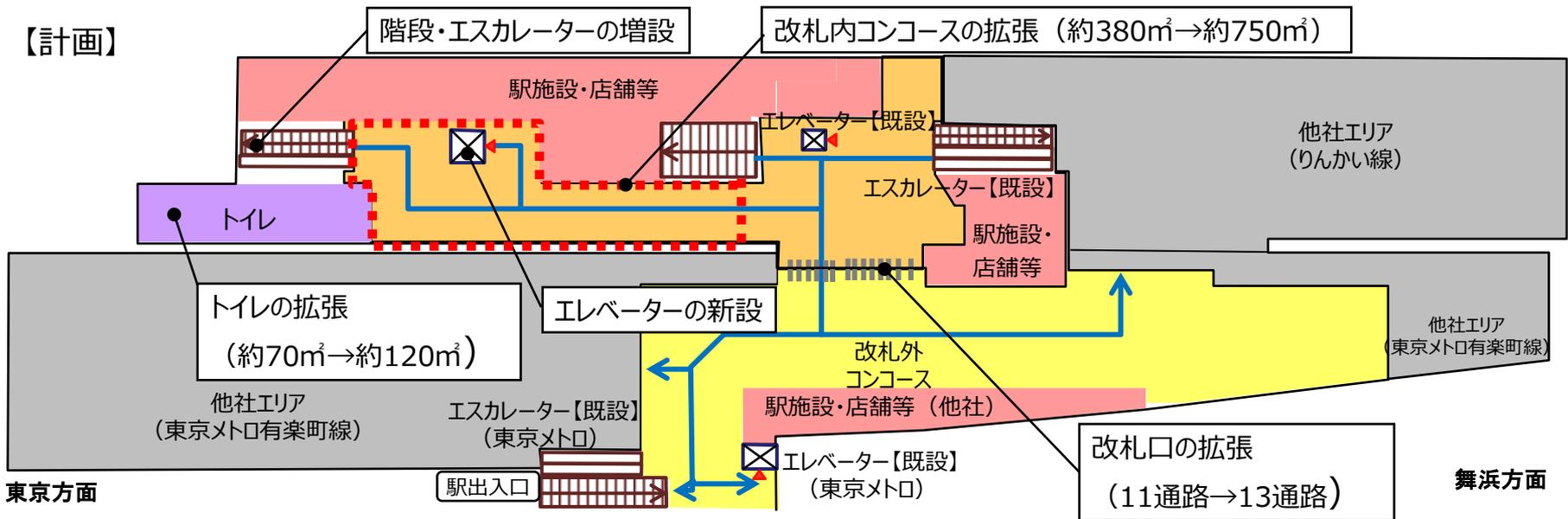


■新木場駅

【現状】

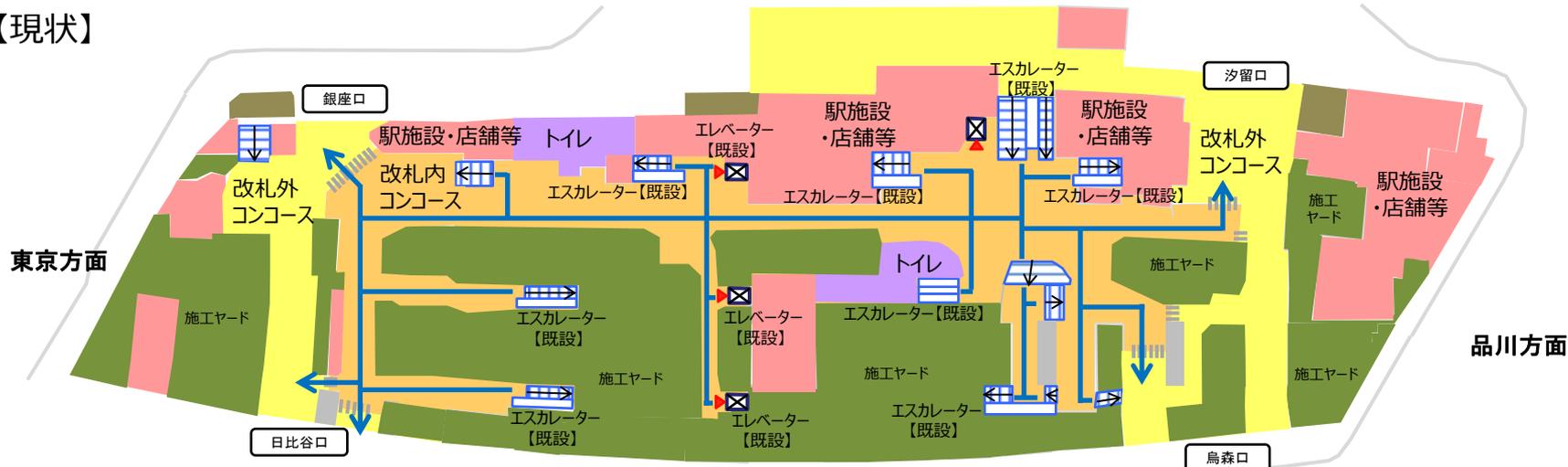


【計画】

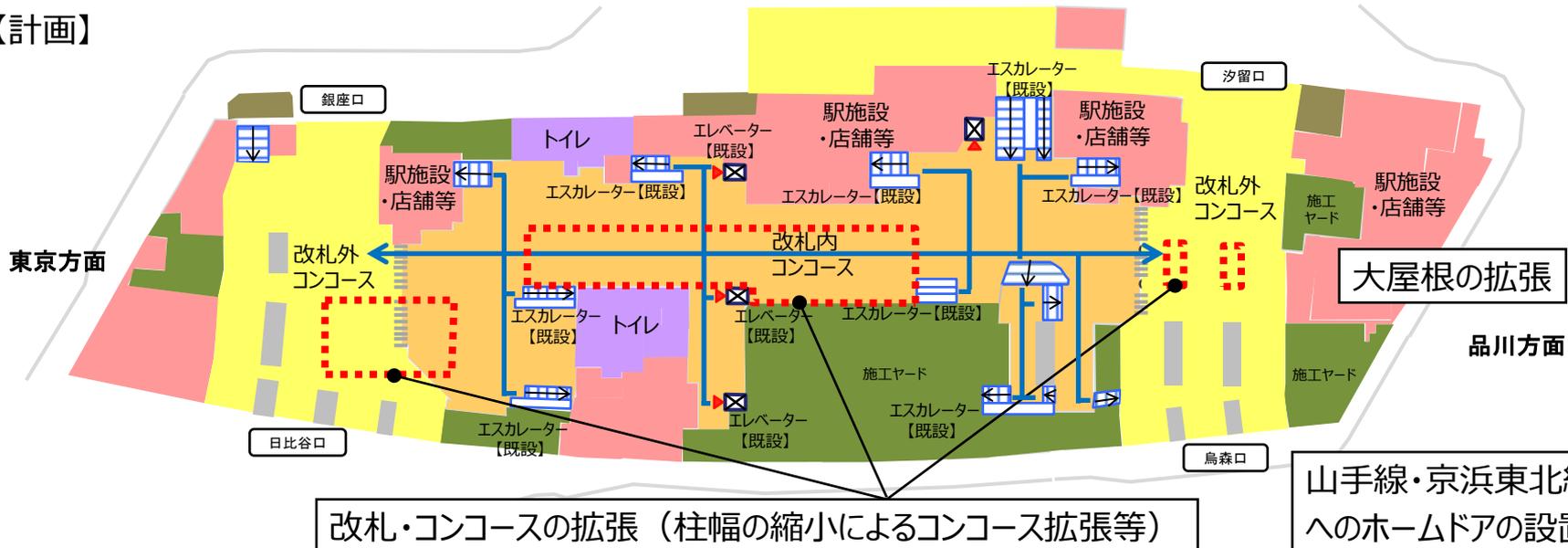


■新橋駅

【現状】



【計画】

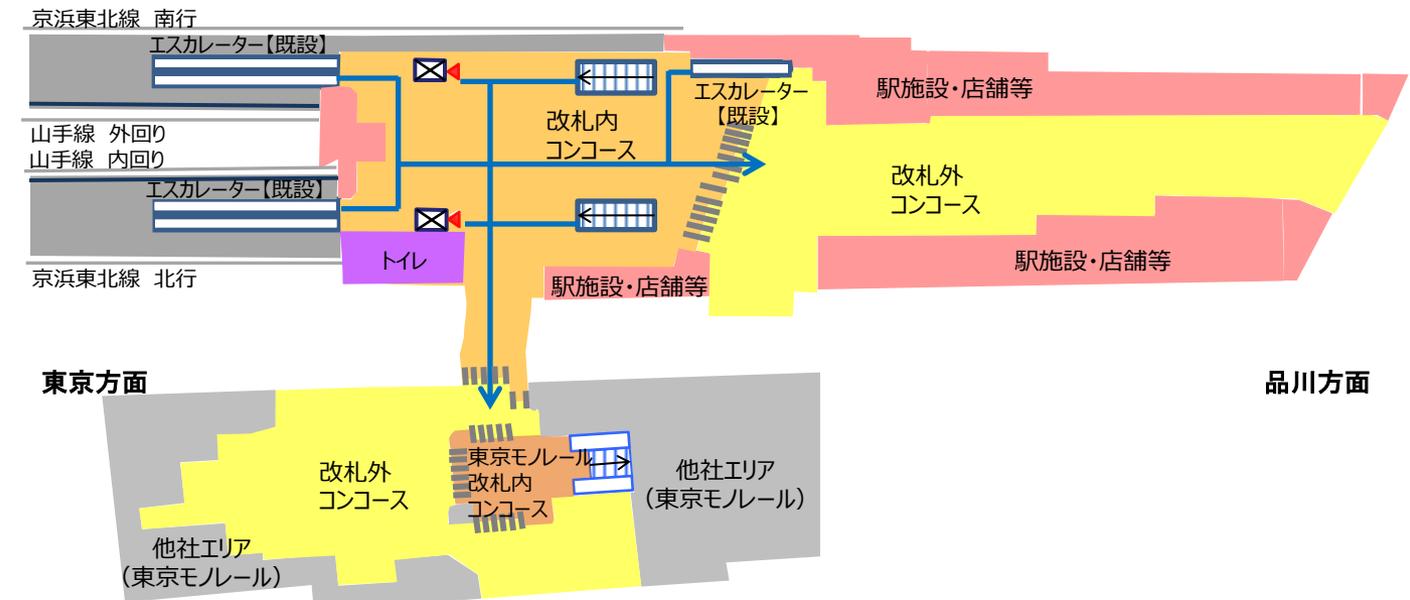


改札・コンコースの拡張（柱幅の縮小によるコンコース拡張等）

山手線・京浜東北線へのホームドアの設置

■ 浜松町駅

【現状】



【計画】

